

小さな実に栄養がギュツ！

## ミニトマトの出荷が最盛期を迎えます

【4月30日（火）／刈谷市内で収穫風景を紹介します】

J Aあいち中央管内で栽培しているミニトマトの出荷が最盛期を迎えます。当J A管内では、碧南市や安城市、刈谷市で約30軒の生産者が施設（ハウス）で、約240軒の生産者が露地でミニトマトを栽培しています。ほぼ一年を通じて栽培されるミニトマトですが、日照時間が長く気候もよい5月上旬～6月中旬にかけて収穫量が増えます。



J Aのファーマーズマーケットや産直センターには、定番の赤く丸型以外にも、プラム型や黄色のミニトマトなど、生産者こだわりのバラエティに富んだ品種・ブランドのミニトマトが並びます。近年では、高糖度のフルーツトマトも多く出回り、来店者からも好評です。

ミニトマトは大玉のトマトに比べて、カロテンやビタミンC、カリウムなどが豊富で、小さな実ギュツと栄養が詰まっていると言われています。

### <メディア対応日>

■日 時：2024年4月30日（火）午後1時30分

■集合場所：J Aあいち中央刈谷北部支店（刈谷市東境町神田36-1）

※当日は、刈谷市内のハウス（車で約10分移動）で収穫風景と生産者インタビュー、J Aあいち中央産直センター刈谷北部で売り場を撮影いただけます。



（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課広報強化対策室（山村、杉浦、細井）

TEL：0566-73-5504／携帯：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp